

事業名:	東近江・ポストコロナ対策助成事業
資金分配団体:	公益財団法人東近江三方よし基金
実行団体数:	8団体
実施時期:	2021年3月～2022年3月
事業対象地域:	滋賀県東近江市
事業対象者:	小規模事業者及び雇用者 東近江ファンや市への来訪者 在宅ワーカー 引きこもる学生・高齢者 孤立する子育て世代、外国籍の方

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処：事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内)	状況の把握方法	想定する対応方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計業務の煩雑化</li> <li>・ 感染リスクに対する経営サイドと現場サイドの温度差</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計処理の正確さ、スピードなどから判断</li> <li>・ 伴走支援や事業実施の中で、現場スタッフのヒアリングを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計専門スタッフのパート採用</li> <li>・ 今回の助成事業を通じて経営サイドに働きかけ、現場の声とその対応策を伝え解決に導く。</li> </ul>

II. 見直し後\*の事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な手法を用いた交流促進のための体制整備</li> <li>・ 高齢者や学校に行きづらい学生の居場所の提供</li> <li>・ 「働き方の新しいスタイル」のモデルの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流促進のための具体例</li> <li>・ 居場所の整備と活動の開始</li> <li>・ 拠点の整備と活動の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流事例の見える化</li> <li>・ 多様な居場所の見える化</li> <li>・ 「働き方の新しいスタイル」のモデルの見える化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体例5つ</li> <li>・ 居場所の提供 2カ所</li> <li>・ 具体例1つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年2月</li> <li>2022年2月</li> <li>2022年2月</li> </ul>

\*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後\*(\*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大が継続しても、終息しても、地方において新しい暮らし方・働き方が実現している。</li> <li>・ 交流人口が減少しなかったことが、移住・定住の増加に貢献すると共に、都市部の過密状態を解消することに貢献している。</li> <li>・ 就労や就学でつまづいた若者に対して、緩やかな居場所が提供され、生きる意味と役割を見出すことに貢献する地域が実現している。</li> </ul>			

\*実行団体の事業計画等から見直した結果